

- 問1 アメリカ合衆国では、中国に比べて農業従事者数が少ないにもかかわらず、1人あたりの穀物生産量が非常に多くなっています。その理由として最も適切なものを選択してください。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 広大な農地で大型機械などを活用した大規模な農業が行われているから。
 2. 穀物の生産総量が小さく、国内での穀物消費量が極めて少ないから。
 3. 農地面積が狭いため、多くの労働力を集中させた集約的な農業が行われているから。
 4. 全人口に対する農業従事者数の割合が中国よりも圧倒的に高いから。
- 問2 アラスカの広大な原野において、太い輸送管が支柱によって地面から一定の高さに保たれた状態で地平線まで続いている様子が見られます。この施設に関連する記述として正しいものはどれですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
1. 熱帯雨林の湿地帯において、銅鉱石を効率よく港まで運ぶために建設された輸送路である。
 2. 季節風による大雪の影響を避けるため、石炭を地上から浮かせて運ぶ専用の鉄道高架である。
 3. 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。
 4. 乾燥帯の砂漠において、貴重な地下水を都市部へ供給するために建設された外来河川の引水管である。
- 問3 アメリカ合衆国の農業就業者数は約241万人で穀物収穫量は約3億5693万トン、対する日本の農業就業者数は約125万人で穀物収穫量は約1173万トンという統計があります。このデータから算出される、農業就業者1人当たりの穀物収穫量の差と、その背景にあるアメリカの農業の特徴を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
1. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。
 2. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、狭い土地に多くの肥料と労働力を投入する集約的な農業が展開されている。
 3. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約170トン多く、適地適作の考えに基づき、特定の農産物を専門的に生産している。
 4. 1人当たりの収穫量はアメリカが日本より約1400トン多く、バイオテクノロジーを用いた品種改良により生産性を高めている。
- 問4 アメリカ合衆国の民族構成に関する調査において、カリフォルニア州、アリゾナ州、テキサス州など、全人口に占めるスペイン語圏からの移民である「ヒスパニック」の割合が15%を超える州の地理的な共通点として、最も適切なものを選択してください。（2019年 熊本県公立入試 類似）
1. カナダと国境を接している北部の州である。
 2. 大西洋に面している南東部の州である。
 3. 五大湖周辺に位置する北東部の州である。
 4. メキシコと国境を接している南部の州である。
- 問5 北アメリカの乾燥地域で行われている「センターピボット」を用いた農業について、その仕組みと特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 奈良県公立入試 類似）
1. 海や湖の一部を堤防で囲い、内部の水を排水して得られた土地を農地として利用する。
 2. 地下水を水源としてくみ上げ、長いアーム状の装置で人工的に散水して農作物を栽培する。
 3. 傾斜地の斜面を階段状に平らにならし、雨水を効率よく利用して作物を栽培する。
 4. 河川の氾濫を防ぐための堤防を築き、湿地帯の水を抜くことで肥沃な土地を確保する。
- 問6 アメリカ合衆国のサンフランシスコ郊外にあるシリコンバレーで情報通信技術（ICT）産業が発展した背景の説明として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 周辺地区で石炭と鉄鉱石が豊富に採掘され、大型船舶による水上輸送が容易であったため。
 2. 政府による強固な貿易保護政策により、外国製品の輸入が規制されていたため。
 3. 第一次世界大戦の時期に、大規模な軍需工場の集積地として国から指定されたため。
 4. スタンフォード大学などの優秀な大学・研究機関があり、起業支援や技術革新の環境が整っていたため。
- 問7 ロッキー山脈やアンデス山脈を含む造山帯は、地球の表面を覆うプレートの動きによって形成されました。この造山帯で見られる自然環境の特色について、背景を含めた説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）
1. 非常に古い時代に形成された安定した地塊であるため、大規模な地震の発生はほとんどなく、金属資源の採掘が盛んである。
 2. 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。
 3. 長期間の浸食を受けた古い山地であるため、標高は比較的低く、なだらかな地形が広がっており、地盤も安定している。
 4. ユーラシア大陸から続く巨大な山系の一部であり、プレートの衝突によって形成されたため、火山はほとんど存在しない。
- 問8 北アメリカ大陸と南アメリカ大陸の境界に位置するパナマ運河が完成したことで、世界の貿易にはどのような大きな変化が生じましたか。かつての船舶が南アメリカ大陸の南端を大きく迂回して大西洋と太平洋を行き来していた状況を踏まえ、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 静岡県公立入試 類似）
1. 陸路によるコンテナ輸送が中心となり、海上輸送の利用者が減少した。
 2. スエズ運河を経由する航路の重要性が高まり、アジアへの移動が容易になった。
 3. 航路が延長されたことで、南米諸国の港を利用する貿易機会が増加した。
 4. 航路が大幅に短縮されたことで、船舶の輸送時間や燃料費が削減された。
- 問9 アメリカ合衆国において、北緯37度付近を境とした南側の地域を指し、温暖な気候を背景に先端技術産業や航空宇宙産業が急速に発展した地域を何と呼びますか。（2020年 大阪府公立入試 類似）
1. フロストベルト
 2. シリコンバレー
 3. サンベルト
 4. コーンベルト
- 問10 カナダ東部のケベック州などを中心とした地域では、道路の交通標識や政府の発行する公的文書において、英語ともう一つの言語が並んで記される「二ヶ国語表記」が徹底されています。このような取り組みが行われている理由として最も適切なものはどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. アジアからの移民が増えたため、広東語を公用語に追加したため
 2. フランス系住民が多く居住しており、その言語や文化を尊重するため
 3. 隣接するアメリカ合衆国との交流を深めるため、スペイン語の使用を推奨しているため
 4. 先住民の言語を公用語化し、すべての州で義務付けたため
- 問11 サンフランシスコ郊外のシリコンバレーに代表される、アメリカ合衆国の高度な工業地域について、その地理的条件と産業の特徴を説明したものとして適切なものを次から選びなさい。（2024年 三重県公立入試 類似）
1. 北緯37度より南に位置し、温暖な気候を背景に航空宇宙産業や情報技術（ICT）産業が発展した。
 2. 北緯37度より北に位置し、冷涼な気候のもとで大規模な小麦の栽培と企業的な牧畜が発達した。
 3. 九州地方のように空港や高速道路の周辺にIC（集積回路）の工場が多数進出した。
 4. 五大湖周辺に位置し、豊富な石炭や鉄鉱石の資源を利用して鉄鋼業や自動車工業が発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 広大な農地で大型機械などを活用した大規模な農業が行われているから。	アメリカ合衆国では、広い農地面積を生かして機械化を進めた大規模農業が行われています。これにより、少ない人数で効率よく大量の穀物を生産できるため、1人あたりの穀物生産量が多くなります。
問2	答え 3 永久凍土が広がる寒冷地において、原油を輸送するために建設されたパイプラインである。	北アメリカの北極海沿岸などで産出される原油を、凍結しない港まで運ぶために建設されたのがアラスカのパイプラインです。この地域特有の「永久凍土」という環境条件に対応するため、一般的な地中埋設ではなく、高床式のような構造で地上に設置されているのが大きな特徴です。
問3	答え 1 1人あたりの収穫量はアメリカが日本より約140トン多く、広大な農地で大型機械を利用する大規模農業が展開されている。	アメリカ合衆国の1人当たり収穫量は約148トン（35693万÷241万）、日本は約9トン（1173万÷125万）となり、その差は約139トン（約140トン）に達します。アメリカでは広大な国土を活かし、農業就業者1人が担当する耕地面積が非常に大きい大規模農業が行われています。大型機械を導入して省力化を図っているため、労働者1人あたりの生産性が極めて高いのが特徴です。
問4	答え 4 メキシコと国境を接している南西部の州である。	ヒスパニックはスペイン語圏（主にメキシコや中南米諸国）からの移民とその子孫を指します。地理的にメキシコと陸上で国境を接しているアメリカ合衆国の南西部は、歴史的・地理的なつながりが強く、移民が流入しやすいため、カリフォルニア州やテキサス州などでその割合が非常に高くなっています。
問5	答え 2 地下水を水源としてくみ上げ、長いアーム状の装置で人工的に散水して農作物を栽培する。	センターピボットは、地下水から農業用排水を確保し、人工的に農地に供給する「かんがい」の一種です。本来は降水量が少なく農業が困難な乾燥帯・半乾燥帯において、この技術を導入することで、広大な農地で円形の耕作地を形成し、トウモロコシなどの大規模生産を可能にしています。
問6	答え 4 スタンフォード大学などの優秀な大学・研究機関があり、起業支援や技術革新の環境が整っていたため。	シリコンバレーでは、近隣にあるスタンフォード大学をはじめとする高等教育機関から優秀な人材が供給され、ベンチャーキャピタルによる資金援助など起業を後押しする環境が整っていたことが発展の大きな要因となっています。
問7	答え 2 地殻変動が現在も続いている新しい山地であるため、標高が高く険しい山々が連なり、地震や火山活動が活発である。	環太平洋造山帯は「新期造山帯」に分類されます。これは、比較的新しい地質時代に造山運動（山を作る動き）が始まり、現在も進行している地域を指します。そのため、エベレストなどを含むアルプス・ヒマラヤ造山帯と同様に、山が鋭く高く、地震や火山などの自然災害が起りやすいという因果関係があります。対照的に、長年の浸食で平坦になったものは古期造山帯や安定陸塊と呼ばれます。
問8	答え 4 航路が大幅に短縮されたことで、船舶の輸送時間や燃料費が削減された。	パナマ運河が開通する以前、大西洋と太平洋の間を移動する船舶は、南アメリカ大陸の南端であるマゼラン海峡などを通る非常に長い距離を航行しなければなりませんでした。パナマ地峡を貫くこの運河が完成したことにより、大陸を迂回する必要がなくなり、移動距離が劇的に短くなりました。この航路短縮は、輸送時間の短縮だけでなく、燃料費の節約や輸送効率の向上といった多大な経済的メリットを世界の貿易にもたらしました。
問9	答え 3 サンベルト	アメリカ合衆国では、1970年代以降に人口や産業が北東部の伝統的な工業地帯から、南部や西部の温暖な地域へと移動しました。この北緯37度以南に広がる新興の工業地域をサンベルトと呼びます。I C（集成回路）や航空宇宙などの先端技術産業が集積しているのが特徴です。
問10	答え 2 フランス系住民が多く居住しており、その言語や文化を尊重するため	カナダでは、建国に関わったイギリス系とフランス系住民の対立を避け、共生を図るために多文化主義が導入されました。特にフランス語を母語とする人々が集中する地域では、公的な場面での二ヶ国語表記を義務付けることで、少数派となる文化や言語の権利を保障しています。
問11	答え 1 北緯37度より南に位置し、温暖な気候を背景に航空宇宙産業や情報技術（ICT）産業が発展した。	シリコンバレーなどの先端技術産業が集積する地域は、アメリカ合衆国の南部に広がるサンベルトに含まれます。この地域は北緯37度を境界の目安としており、温暖な気候が労働環境として好まれたことや、大学との連携による技術開発が進んだことで、従来の重化学工業に代わる新しい産業の拠点となりました。